

第1期 決算公告

(自 2022年4月15日
至 2022年6月30日)

グリーコミュニケーションズ株式会社

貸借対照表

(2022年6月30日現在)

(単位：千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|----------------|------------|----------------------|------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 流動資産 | 982 | 流動負債 | 769 |
| 現金及び預金 | 656 | 未払金 | 748 |
| 未収入金 | 247 | 未払法人税等 | 1 |
| 未収消費税 | 79 | 預り金 | 19 |
| 固定資産 | — | 固定負債 | — |
| | | 負債合計 | 769 |
| | | 純資産の部 | |
| | | 株主資本 | 213 |
| | | 資本金 | 1,000 |
| | | 利益剰余金 | △ 786 |
| | | その他利益剰余金 | △ 786 |
| | | 繰越利益剰余金 | △ 786 |
| | | 純 資 産 合 計 | 213 |
| 資 産 合 計 | 982 | 負 債 純 資 産 合 計 | 982 |

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産
定率法を採用しております。
- ② 無形固定資産
自社利用のソフトウェアについては社内における見込利用可能期間（3～5年）に基づく定額法を採用しております。

(2) 収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

(3) 重要な引当金の計上基準

- ① 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額として計上いたします。
- ② 貸倒引当金
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額として計上いたします。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

連結納税制度の適用
連結納税制度を適用しております。

2. 当期純損益金額

当期純損失 △786千円

以上